

特集展示のご案内

長崎歴史文化博物館は、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しくお願い申し上げます。

特集展示「河村若芝 一長崎「若」の系譜一」



河村若芝(1638～1707)は、中国・浙江省出身で、のちに黄檗僧となり興福寺住持もつとめた逸然性融(1601～68)に画を学びました。若芝は逸然から学んだ中国様式の絵の特徴を取り込み、自らの画風を形成してきます。また、渡来黄檗僧木庵からは金工の腐食象眼の法を学んだとされ、「若芝」の銘が刻まれた、いわゆる「若芝鐙」も残されています。

本展では若芝の作品を中心としつつ、「若」の字を受け継ぎ、長崎の地で活躍した人々についてご紹介します。彼らは地役人などを勤めるかわら、画を描き続けました。しかし、若芝が描いた羅漢や布袋といった道釈人物画よりも、頂相や花鳥画が多く残されていることから、長崎の人々に身近な画題を、より親しみやすい作風で描くように変わっていったのではないかと考えられます。唐絵目利や御用絵師とは少し違った長崎の絵画を、「若」の系譜から辿ります。

特集展示「河村若芝 一長崎「若」の系譜一」

会期：2018年10月16日(火)～12月2日(日)

休館日：11月19日(月)

会場：特集展示室（2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内）

時間：8:30～19:00（最終入館18:30）※12月～3月までは18:00閉館

観覧料：大人600円、小中高生300円 ※県内小中学生は無料

※11/22(木) 13:00より メンテナンス作業のため閉室いたします。



河村若芝筆《布袋渡河図》長崎歴史文化博物館蔵



若芝是高作《雲龍文鐙》
長崎歴史文化博物館蔵



山本若麟筆《水呑虎図》
長崎歴史文化博物館蔵

トピック展示

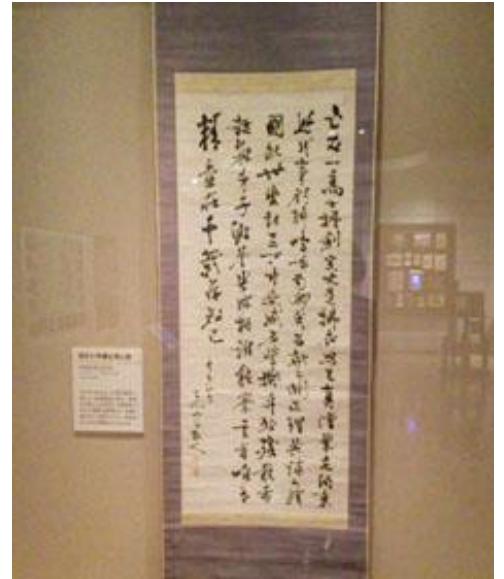
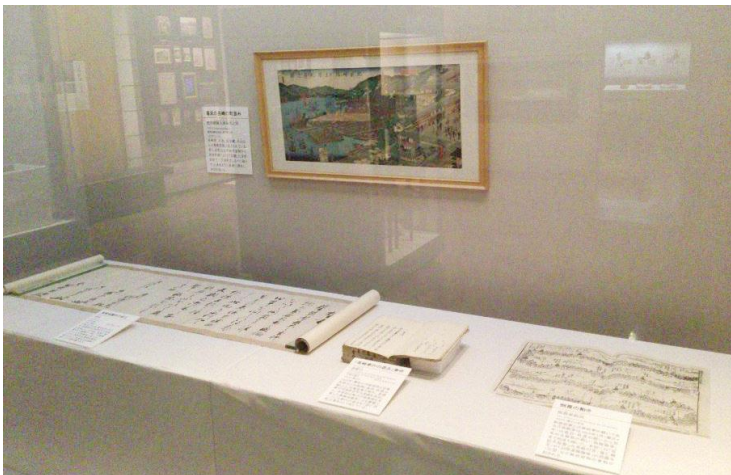
トピック展示「明治150年と長崎」

会 期：開催中～12月16日(日)

会 場：2階常設展示室

歴史文化展示ゾーン 近代の魁・長崎コーナー

1867年に江戸幕府第15代将軍徳川慶喜は、政権の朝廷への返上を申し出、その後天皇親政の体制が開始されます。1868年に元号が慶応から明治に改められることとなり、2018年は明治150年を迎えます。この展示では、幕末から明治への転換期を長崎とゆかりの深い人物をはじめとして、海軍伝習所や日蘭条約、長崎会議所など様々な点から振り返ります。



《西郷南州追弔詩》

長崎歴史文化博物館蔵

1877年(明治10)の西南戦争で自刃した西郷隆盛を悼み、勝海舟が詠んだ追弔詩。西郷と勝が互いを認めていた関係がうかがえる。

「高島秋帆」

会 期：開催中～11月18日(日)

会 場：2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン

オランダとの交流コーナー

今年生誕220年を迎える高島秋帆(1798～1866)は、長崎の町年寄の家に生まれ、西洋流砲術の祖として活躍しました。このコーナーでは秋帆の肖像画やゆかりの資料を紹介。さらに、秋帆が確立した西洋流砲術を彼がそれ以前に学んでいた砲術の流派とともに紹介しています。



《常設展示室について》

開館時間：8:30～19:00(最終入館18:30) ※12月～3月までは18:00閉館

観覧料：大人600円、小中高校生300円 ※県内小中学生は無料



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

〒850-0007 長崎市立山1-1-1

TEL:095-818-8366 FAX:095-818-8407

担当 経営管理グループ 広報担当 大石・前田

☆れきぶんメールマガジン 登録無料! 詳しくは <http://www.rekimaga.info/> →→→

